

ひだか HIDAKA GIKAI DAYORI 議会だより

第169号
平成30年1月31日



平成30年 成人式 (H30.1.7)

行政報告……………2～5P
審議したこと・決まったこと……………6～7P
陳情・議員提出議案・第3回臨時会・私の意思表示……………7P
委員会活動……………8～9P
一般質問に5氏が立つ……………10～14P
日高村議会村民アンケート集計結果のお知らせ……………15～24P
議会日誌・編集後記……………25～26P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

要望活動

各期成同盟会による道路事業関係及び治水事業関係予算の必要額確保の充実に向け、国土交通省・財務省・県選出国会議員・四国地方整備局等に対する要望活動を行った。

国道33号整備促進期成同盟会高知県協議会では、いの町波川から越知町横倉間の早期事業化について、日高村における朝夕の慢性的な交通渋滞の発生や企業進出、村の駅・オムライス街道の取り組み等に見られる道路整備におけるストック効果を基に、事業の必要性について要望を行った。

また、日下川改修期成同盟会では、村民の安全・安心そして、村の振興・発展のために「床上浸水対策特別緊急事業」で採択された、国による日下川新規放水路及び県による日下川・戸梶川の河川改修が、期限内の平成32年度に遅れることなく完成することが求められており、事業推進のため必要な予算の確保について要望を行った。

災害復旧では、台風21号での倒木や土砂くずれにより村道・農道・林道が通行困難となったため緊急の道路啓開を実施した。また、台風5号及び台風18号により農地災害1件と村道災害1件がそれぞれ発生しており、復旧のための補正予算を今議会に提案している。

役場新庁舎建設

10月26日、新庁舎建設に関する基本設計事業者を公募型プロポーザル方式で選定するにあたり、参加申し込みのあった5社から提案に対し、プレゼンテーションと審査委員の質疑が公開にて行われた。同日、プレゼンテーション後に開催された審査会において総合的な評価を行い、大建設・建設工房の共同企業体を受託業者に決定した。今後、受託業者との共同作業にて、具体的な設計やデザインを煮詰め、検討委員会で検討・決定され、設計図書が作成される。

第11回

ひだか茂平マラソン

11月26日には、ひだか茂平マラソンが開催され、第11回大会となる本年は、全国より1千375人の申し込みがあり、350人余りのボランティアの皆様にご協力をいただき開催することができ

た。心よりお礼を申し上げます。また、1千222人の方が完走され、ランナーからは、「ボランティアの皆様や沿道からの多くの声援をいただき頑張れた」「環頭太鼓の応援演奏も嬉しかったです。また、当日はRKCのアナウンサーもランナーとして参加され、その様子が後日放送となり、大会と日高村のPRをしていただきまし

た。今後とも魅力ある大会となるよう努めてまいります。

入学準備金

ご提案をいただいております。また、必要保護児童生徒の入学準備金の入学前支給について、平成29年度より実施するため、今議会に補正予算として提案している。



第11回ひだか茂平マラソン

「デイスカバー農山漁村の宝」に選定

日高村オムライス街道推進プロジェクトが、10月24日に開催された農林水産省の有識者懇談会により「デイスカバー農山漁村の宝」に選定された。4回目となる「デイスカバー農山漁村の宝」は、地域活性化等に取り組み団体や地域の優良事例を選定するもので、全国から応募された844件の中から31団体が選定されている。全国9ブロックの中で、四国ブロックでは、3件選定され日高村は最も評価が高く、全国ベスト9に選定された。

11月22日に総理官邸において、交流会が開催されグランプリと特別賞が発表されたが、残念ながら日高村の受賞はならなかった。

しかし、「みんなが主役！ひろげようオムライス街道の輪」をキャッチフレーズにして、オムライスとトマトを軸に、農業・商業さらには行政、地域、学校など

の各機関の連携を「食」「アート」「音楽」の3つの柱で構築・展開し、村全体を活性化することが評価されたことは大変喜ばしく、村を大いにPRすることができ、今後一層、村の活性化につなげていけるものと期待する。

翌23日には東京日本橋タワーを会場に、村の宝選定団体によるマルシェが開催され、トマトを使ったピザソースやパスタソース、野菜スープなどの販売を行った。

「村の駅ひだか」

8月から10月までの村の駅ひだかの直販所の売り上げ状況については、9月までは前年同月より増加していたが、10月は2週続けての週末の台風の影響や、店舗増床工事のため2日間休業したことなどの影響のためか、オープン以後初めて前年同月を下回る86・3%となった。

しかし、オープン3年目の年間売り上げ（11月～10

月）は、約2億3千万で前年比11%と増加しており、客数も約20万9千人で前年比105%と増え、10月31日にはレジ通過人数が60万人を達成した。

増床工事は、10月31日に完成し、11月8日に完成検査を受け、11月9日からイトインコーナーとエキナカ商工会の販売コーナーをオープンした。

また、「村の駅」南の畑を借地し新たに駐車場を整備する予定で準備作業を行っている。

日高メシふえすていばる開催される

11月12日第4回日高メシふえすていばるが開催された。NPO法人日高わのわ会と高知大学生グループ



日高メシふえすていばる

「あだたん」の主催による取り組みで、当日は多くの来場者で小村神社の参道が賑わった。自らの企画立案、運営、実行を行い素晴らしい村おこし活動を展開されていることに、深く感謝し敬意を申し上げます。

連携中枢都市圏構想

10月に連携中枢都市圏ビジョンにかかるパブリックコメントを県内全市町村で実施され、いただいたご意見はホームページにて公開し、ビジョン懇談会でも検討されるようになっていく。

また、圏域の名称を、「れんけいこうち広域都市圏」と改め、「れんけいこうち」をひらがな表示とし、県民に広く認知されやすい取り組みにしていこうようにしている。本会議において、高知市と日高村におけるれんけいこうち広域都市圏形成に係る連携協約の締結に関する議案を今議会に提案している。



日高チャレンジ号

「日高チャレンジ号」

発信

11月1日から1年間で、とさでん交通のご協力をいただき、とさ電カラー電車「日高チャレンジ号」を運行することとなった。これは、龍馬チャレンジ活用事業のひとつで、オムライス街道と新たに誕生したキャラクター「リアル茂平」を模した電車を走らせ、日高村のさらなるPRを図る。

日高村成年団

「日高家」

10月9日「見たか来たか日高家祭り2017」が賑やかに開催された。踊りや出店に地域の元気な声が聞こえ、昔のお祭りを思い出させる風景があった。主催の日高村成年団「日高家」は、祭り等を通じて地域での絆づくりをしたいと集まった青年で構成され、今後とも「日高家」の地域を活性化す

る取り組みに期待する。

第20回

全国農業担い手サミットinこうち

10月24日、集え！担い手動き出せ未来へ！南国高知から発信！元気な農業を大会テーマに、第20回全国農業担い手サミットinこうちが、春野総合運動場で開催され、翌25日には「トマト生産団地拡大から農業クラスターを形成するコース」の視察で、35人の方が日高村を訪れた。トマト選果場や(株)アグリサポートのロックウールハウス、霧山茶園、日下川調整池、小村神社等の視察をしていただいた。

全国土の会

四国大会開催

11月1日に、土壌診断等で大変お世話になった元東京農業大学の後藤教授が主催する、全国土の会四国大会が高知市の新阪急ホテルで開催され、高知県内で唯



全国土の会四国大会

一全国土の会に所属する日高村土壌を守る会の藤岡会長が開式及び閉式の辞を述べ、日高村のシュガートマトのPRを行い、翌2日には村内で現地研修会が開催され、120人以上の視察参加者があり、トマト選果場やシュガートマトハウスの視察や水田での土壌診断調査デモが行われ、トマト産地である日高村をおおいにPRすることができた。

日高村議会緊急雇用 創出臨時特例基金事 業調査特別委員会報 告書

平成28年3月から29年9月までの1年半にわたり、20回を数える委員会を開催され、現地調査や関係者への聞き取り調査に取り組み、去る9月議会において調査報告書が提出された。

平成29年第4回定例会

審議したこと

決まったこと

H29.12.6~12.13

12月議会では、予算関係5件、条例関係3件、その他1件、議員提出議案1件、計10議案と陳情1件の合計11件が決まった。

条例

◎一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告の趣旨に沿って、国準拠に基づき、初任給1千円引き上げ、若年層についても同程度の改定。給料表を平均改正率0.2%の引き上げ・勤勉手当0.1引き上げ等の改正を行うもの。

◎日高村分担金徴収条例の一部を改正する条例

農林水産事業のうち、国費土地改良事業を実施する際に必要な地元の負担割合について規定するもの。公布の日から施行するもの。

◎日高村農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

農業委員会等に関する法律規定に基づき、日高村農業委員会の委員の定数を9人(現行14人)、農地利用最適化推進委員の定数を5人(新規)と定めるもの。また、日高村農業委員会の選挙による委員の定数条例を廃止するもの。現在の日高村農業委員会の委員の任期満了

の日(平成30年7月29日)の翌日から施行する。ただし、条例を施行するために必要な準備行為は公布の日から施行するもの。

予算

(△はマイナズ)

◎平成29年度日高村一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億7千904万1千円を追加するもの。

質疑

問 非木造の住宅耐震補助金が減額となっているが、申請がなかったためか。

答 国道33号沿道の建築物を対象ということで予算化していたが、本年度実施は無理となり、減額するものである。

問 ソーラー配当金を積み立てるとあるが、計画積立額と積立金の目的を聞く。

答 今回、こうちメガソーラーの配当金を75万7千円補正計上している。

これは、11月7日に株主総会があり、昨年9月から今年8月までの期間

の収支による利益から配当を決定したものである。将来、日高村環境行政に活用する見込みで、環境基金への計上としているが、具体的なことは決定していない。

問 交流拠点整備事業の規模を聞く。

答 100㎡程度の建物を計画している。

問 自動火災報知機設備設置委託料だが、設置場所はどこか。

答 消防法の改正により、今年新たに建築する1棟を含むお試し住宅等の簡易宿舍3戸分に設置をするもの。

問 相続財産管理人選任予納金の内容の説明を求めらる。

答 相続財産、被相続人、相続人が代償相続まで全た土地20筆の案件である。これらの抵当権を含め差し押さえ実施のための相続財産管理人の選任を行うための事務費等や裁判所への納付金と行政書士への委託費としたものである。

◎平成29年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ318万7千円を追加するもの。

◎平成29年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ28万8千円を追加するもの。

◎平成29年度日高村介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算総額にそれぞれ99万1千円を追加するもの。

◎平成29年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算総額にそれぞれ414万2千円を追加するもの。

その他

◎高知市及び日高村におけるれんげいこうち広域都市圏形成に係る連携協約の締結について

質疑

問 広範な内容で大変と思われ、総務課が担当するののか。

答 広域都市圏形成から連携協約締結までは、総務課が担当し、各種事業は、所管課となる。

陳情

◎子どものための予算を大幅に増やし、国の責任で安心できる保育の実現を求める意見書の提出を求める陳情

提出者

保育の公的保障の拡充を求める大運動高知県実行委員会

採決

会長 田中 きよむ
全会賛成 採決

平成29年度12月議会
議員提出議案

平成29年度12月議会

◎子どものための予算を大幅に増やし、国の責任で安心できる保育の実現を求める意見書案

提出議員 森下雅文
賛成署名議員 森下芳文
横山泰昌
野村重夫

第3回
臨時会

12月4日第3回日高村議会臨時会が開催され、承認1件、同意2件が可決された。

承認

◎専決処分の承認を求めることについて

平成29年度日高村一般会計補正予算(第4号)を専決処分したので、これを報告し承認を求めるもの。

人事

◎副村長の選任につき同意を求めることについて

住所 日高村岩目地102
8番地1



吉岡優誠教育長

氏名 吉岡 優誠
生年月日 昭和31年11月19日
任期 平成30年1月1日から平成32年12月31日



藤田浩副村長

氏名 藤田 浩
生年月日 昭和35年2月28日
任期 平成29年12月16日から平成33年12月15日

私の意思表明

12月第3回臨時会

○賛否の分かれた議案等

○:賛成 ●:反対

議案	氏名										結果
	戸梶章	矢野孝明	森下芳文	横山泰昌	壬生豊秀	野村重夫	森下雅文	岡本光男	西川龍子	尾崎政廣	
日高村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	同意

(12月第3回臨時会 全会一致 2件)

12月第4回定例会

○賛否の分かれた議案等

○:賛成 ●:反対

議案	氏名										結果
なし										議長	

(12月第4回定例会 全会一致 11件)

※賛否の分かれた議案は全て掲載していますが、全会一致の議案につきましては紙面容量によりまして省略しています。
※議長は、議決に加わらないが、賛成、反対が同数となったときは、採決権の行使をします。

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 森下雅文

11月27日（月）午後1時30分より

規事業の報告を受けた。

森下総務課長より

1. 議会休会中の動きや今議会にて提案される議案に関する報告を受ける。

2. 村有財産払い下げ申請2件を審査した。

①江尻の圃場内農道5・02㎡を圃場として使用したいとの申請。

②村道稲葉福田線改良に伴う家屋の移転先として、旧村営住宅跡地198・36㎡の払い下げを申請するもの。いずれの土地も、申請どおり払い下げることとした。

谷本副村長より

新放水路関係地域の、いの町大内南ノ谷地区対策協議会との話がまとまり、調印を残すのみとの報告を受けた。

片岡教育長より

茂平マラソンについての報告を受けた。

井上教育次長より

1. 2学期の行事や学校関係の各種受賞の報告を受けた。
2. 今議会で提案される新

川村住民課長より

1. 差し押さえ不動産4件の公売で、2件が落札された件と搜索3件に

森下参事兼室長より

今議会提案の補正予算に関する件、連携中枢都市圏に関して報告を受けた。

経済建設厚生常任委員会



委員長 壬生豊秀

11月28日（火）午前10時より

2. 関する報告を受けた。各会計の補正予算に關連する報告を受けた。

より

松岡健康福祉課長より

1. 長寿訪問
100歳の方1人と101歳以上の5人の方を訪問し、お祝いの言葉と記念品をお贈りした。

2. 総合健診

10月末時点で、本年度特定健診受診者は468人、受診率44・4%、後期高齢者医療の方も209人受診している。

3. がん検診

肺がん及び結核検診が888人、胃がん検診571人、

藤田産業環境課長より

村の駅ひだかの状況は、3年目の年間売り上げは、約2億3千万円で、前年比11%増。来客数約20万9千人で、前年比105%増となっている。

大川内建設課長より

1. 江尻地区「かわまちづくり」事業は、国土交通省による今年度の工事である管理用道路の整備工事に着手。

2. 能津地区夢団地については、10月17日に入居者の方々と意見交換を行い、最終的に村の方針に理解が得られた。

住宅の払い下げの希望者はいなかった。現時点で収入超過者となる2戸については、みなし特定公共賃貸住宅制度への移行を進める。

日高村振興対策特別委員会



委員長 岡本光男

11月28日（火）午後1時より

エコサイクルセンターへ現況の視察に向かう。西尾所長より現況説明を受ける。

本施設は、平成9年に高知県知事が県議会に当センターの建設を提案され、さまざまな過程を経て、平成23年10月開業しており、施設の構成は、管理型最終処分場、医療廃棄物処理施設、浸出水処理施設の3処理施設となっている。

管理型最終処分場には、1日約50トンの廃棄物が搬入されている。搬入車両は、4〜10トン車両が主である。1日の搬入台



委員のエコサイクルセンター現地視察

数は、平均8台である。医療廃棄物は、1日平均1箱40リットルの容器で約600箱が、車両台数約6台により搬入されている。

最終処分場は、現在処

理能力の56.7%に達しており、当初計画の220%の速さで進んでおり、この状態でいくと平成34年10月で100%（満杯）になる状況であるとのことだ。

視察の後、委員会で協議を行い、県に対して、平成30年1月中旬頃にお越しいただき、現在の振興策で残されている県道庄田伊野線改良、高架橋の取り組みについて説明を頂き、村の発展につながる協議を進めることとなった。

日高村治水対策 特別委員会



委員長 戸梶 章

11月28日（火）午後3時30分より

山崎治水対策室長より

1. 国・県・いの町・日高

村が進める大内地区、大内南の谷地区への対応。

(1)平成29年10月20日、大内地区で第4回協議会を開催し、以下確認された。

①鎌田用水氾濫対策については、国土交通省が毎秒1mの排水ポンプ車を配備することでの了解を求めたが、今後の継続審議となった。

②新放水路工事による水枯れ問題等には、国土交通省で対応する。

(2)平成29年11月25日、大内南の谷地区で第7回協議会を開催し、以下確認された。

①新放水路工事に関わる、構造・騒音・振動・水枯れなどの問題には、全て国土交通省が対応する。

なお、工事残土の夜間運搬は禁止とされた。

②南の谷川の氾濫対策・河川の浚渫や草木の除去等、適正な河川

管理と未改修の農道橋の架け替え工事は、高知県が実施する。

③大内南の谷地区の活性化対策

- ・町道17カ所の修繕整備工事及び地元対策はいの町が行い、それらの費用は日高村とする。
- ・同地区への活性化対策費については、日高村で対応する。

2. 国土交通省及び高知県の所管内容について

村道江尻妹背峠線の拡幅工事及び残土処分場新設工事は、共に順調に進んでいる。

3. 日高村所管内容について

(1)平成29年8月30日、日下川下流工区的设计変更説明会を38人の地権者のうち18人が参加して開催し、派川日下川への管理橋は、地質調査を踏まえ断念する。下流域の用地買収は、平成29年度より実施している旨伝えられた。

(2)年度内の対応

①新日下川放水路呑口側の施工会社が、30年1月には確定するため、3月中旬に村民の皆様方を対象とした工事説明会と、関係者による起工式典を予定している。

②日高村で3本目となる新日下川放水路工事が、30年3月には着工される予定であり、村民の皆様方にも経緯等をお知らせし、工事へのご協力等を得るためにも、議会だよりやひだか広報を用いて、村民への啓蒙啓発を図るべきとされた。

(3)日下川及び仁淀川改修期成同盟会として以下の活動を行った。

高知県中央西土木事務所、高知県土木部、高知県河川国道事務所、四国地方整備局、国土交通省及び国会議員への要望等を行った。

以上報告する。

一般質問に5氏が立つ



野村重夫議員

医療費無料化18歳まで引き上げを

質問 2017年度版の少

子化社会白書では、子どもも予定数が、夫婦の理想の第1は、子育てにお金がかかりすぎる56・3%で、男性が結婚しているかどうか、正社員では25歳から29歳までが31・7%、30歳から40歳で57・8%が結婚しているが、非正規雇用は25歳から29歳で13・0%、30歳から34歳で23・3%しか結婚していない。結婚している人が非正規雇用では、正社員の半分以下となっている。非正規雇用では、なかなか結婚はできない。日高村の現状はどうか。

答弁 井上教育次長

平成17年から平成22年の国勢調査から性別年齢地域の構成比から1万サンプルによる調査を実施して分析したもので、市町村単位で比較できるものではないが、日高村の

子ども子育て支援計画を立てるときに、実施したときのアンケートによると、子育てに不安を感じていることに、教育費にかかる経費負担が多いという結果が出ています。

質問 2013年に内閣府

が出した子どもビジョンにかかると点検評価の指導調査報告書では、子育て教育の経済的負担の具体的内容として、学校教育費、大学・短大等が55・6%、学習塾等、学校以外の教育費が47%、保育所、幼稚園、認定こども保育園の費用が39・1%、小学校・中学校までが38%になっている。

2015年11月17日、1億総活躍国民会議ヒアリング資料から、子育ての経済的負担は、出生率を低迷させてきた大きな要因である。

しかし、これまで子育ての経済的負担を直接軽減する政策は、ほとんど行っていない。出生率回復のためには、子育ての経済的負担を直接軽減

する施策が必要であるということ、結婚や住宅費等子どもがいる世帯についても応援する経済的支援、子どもを多く生み育てることを手厚く支援するよう手当、控除等を充実させ教育費負担の軽減。

子どもの医療費無料化のな高等教育の負担軽減。奨学金の充実、経済的困窮する家庭の子どもに対する教育費支援などとなっている。

日高村の支援は、どうか。

答弁 井上教育次長

経済的負担の対応策として保育料の軽減策の実施をしている。平成29年度の保育料については、国の基準額に対して、保護者負担を約半額の50%にしている。同一世帯に属する子どものうち保育所に入所する3子以降の乳幼児については無料、同時入所の2子についても無料となります。

就学援助制度は、経済的な理由により、就学困難な児童生徒に対して、学用品費・給食費などの



援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図るものである。新入学児童生徒入学準備金を平成29年度から実施を予定している。奨学金については、非課税世帯に対して無利子の対応にて実施している。

日下小学校裏山の崩落への対応は



森下雅文議員

質問 現在、裏山の調査をしていただいているが、急傾斜崩壊対策の見通しはどうか。

答弁 大川内建設課長
用地測量と補償調査を行っており、1月には地権者への説明と補償契約をしてゆきたい。できれば、年度内に一部工事の発注も行いたいとのことだ。

日下川下流域の改修は

質問 下流域改修のスケジュールを明確にできないか。

答弁 大川内建設課長
国岡橋から下流区間約700mの詳細設計と用地測量が完了し、地権者等への説明会も実施した。用地買収にも入っている。できれば、平成30年度の非出水期に着工したいとのことだ。
引き続き早期改修について要望してゆく。

流水支障木の伐採を

質問 放水路付近の、支障木の伐採を急ぐべきではないか。

答弁 大川内建設課長
日下橋の下流にある正寺岡橋付近について、伐採が必要であり、県にお願いしてゆきたい。

沖名踏切の改良は

質問 土捨場への土砂搬入

はいつからか。
搬出路にある沖名踏切の改良は、いつ完成か。
答弁 大川内建設課長
土砂搬入は、平成30年4月頃からではないか。
沖名踏切は、平成30年度中の改良と聞いている。

能津・日下間にトンネルを

質問 60年前からの懸案であり、今こそ取り組む必要がある。それによって、日高村全体を浮揚させなければならぬが。

答弁 戸梶村長
村の振興発展にとって非常に大事であり、諦めずできる方向で取り組まなければならぬ課題だ。

宅地開発事業の推進を

質問 6区画全部の分譲が決まったが、これにより人口は、何人増えることになるか。

新たな宅地開発は、検

討されているか。
答弁 森下参事兼室長
大人が12人、子どもが10人増えることになる。新たな宅地開発は、明日からでも進めていきたい。

防災士の活用を

質問 防災士参加型の防災訓練を実施してはどうか。

答弁 森下総務課長
村内の資格取得者は3人と聞いているが、今後連携の必要があり、機会があれば、要請したい。

来年度から職員研修の一環として、毎年何人かに防災士養成講座を受講させるようにしたい。

緊急雇用創出臨時特例基金事業の契約について

質問 事業の状況について、受託者から特段の連絡がなかったという不作為によって、事業が順調

に推移しているものと錯誤して、契約を行ったものではないか。
答弁 戸梶村長
今回のこの件について、疑問は多々あった。ただそれが、錯誤にあたるのか詐欺にあたるのかも含め、なかなかそこまでは糾明できない部分であったらうと思う。

その他の質問事項

1. 村が産廃施設を受け入れたことによる効果と課題。
 2. 日下駅舎の改修。
 3. 無許可墓地について。
 4. ふるさと納税。
 5. 新学習指導要領への対応。
- その他22件。

教育環境の整備を



西川龍子議員

質問 エアコン設置により、勉強への集中力が高まり、子どもたちの食欲も増し、給食の食べ残しが少なくなりました。

児童の学習面や生活面での環境が1年中整い効果は大きいとの先生からの話もある。

能津小では、日当たりが悪く、寒い教育環境に格差があってはならないと考える。子どもたちの健康を守り、集中して勉強できるよう、村内の小学校全教室にエアコン設置を要望する。

答弁 戸梶村長

設置の方向で取り組みたいと考えており、平成30年度より施設整備計画に挙げ事業採択を受けた後、能津小学校から実施し、日下小学校は、大規模改修の時期に合わせて設置し、日高中学校も含め順次計画的に格差のない形で進めたい。

が当村の導入は。

答弁 松岡健康福祉課長

10月31日開催の中央西福祉保健所行政連絡会議の議題にあげ、その中で各市町村と県の考え方を確認、広域的に実施すること、より効果が出る取り組みとの意見が多く、県は30年度予算でヘルプマークを作成予定であり、日高村は、ヘルプカードの作成予算を平成30年度予算に計上する予定、併せて啓発、周知も実施したい。

質問 浸水対策事業の日下川改修工事県工事が実施されているが、説明を求めます。

岩目地国道の三差路の南側も住宅地で浸水被害もあるが対応について聞

答弁 大川内建設課長

日下川の改修は、河道掘削と護岸整備、築堤を行い、計画の河川断面を確保するもの、そのために住家や重要構造物等がある区間において、軟弱地盤対策として、矢板の設置を行い周辺への影響

を抑制する工事を行っている。

全体の改修区間は、日下川では、戸梶川との合流点より上流に4400m(筋違橋)、戸梶川は合流部より、上流2500m(稲葉橋上流の農道橋)までの区間となっており、現在、日下川床上浸水対策特別緊急護岸整備工事で、
①竜石ローソンより下流左岸の212m。
②鹿兒橋の上下流右岸の612m。
③今市上橋の下流左岸の110m。
また、本年度、今後の



日下川床上浸水対策特別緊急整備工事 竜石付近

その他の質問事項

発注予定工事では、
④今市上橋の上流左岸の120m。
⑤鹿兒橋の上流左岸の140m区間となっている。
岩目地国道三差路の南側については、堤防のない区間であり、新たに堤防を設置することになっている。

1. 教育の無償化。
2. 有害鳥獣被害対策。
3. 認知症対策。
4. 南海地震対策。

オムライス街道の 目立つ看板を



森下芳文議員

質問 村外から来た方が、「オムライス街道はどこですか」と問いかける場面に出くわし、分かりにくいことを改めて知った。目立つ看板の設置を。

答弁 藤田産業環境課長 一目瞭然のものに、予算的なことや場所の問題はあるが、検討していく。

新庁舎にオフィス 改革の発想を

質問 働き方改革で総務省は、オフィス改革を実施して、残業時間の短縮など効果を上げているが、



現在の日高村役場庁舎

新庁舎に導入する考えはないか。

答弁 戸梶村長 私もそのように感じており、十分検討していく。

新庁舎に ランニングコスト 低減の発想

質問 温暖化防止の考えやランニングコスト低減の考えを聞く。

答弁 戸梶村長 作るコストは多少かかって、後のランニングコストが安ければ、随分違うので検討してもらおう。

かさ上げ規制を

質問 現時点で何らかの制約条件を付しているか。

答弁 大川内建設課長 平成32年度を目標に総合治水条例の制定ということで取り組んでいる。

有害鳥獣対策は 後継者の育成が 喫緊の課題では

質問 現在、有害鳥獣対策に取り組んでおられる方の年齢を見ると、後継者の育成が喫緊の課題では。

答弁 藤田産業環境課長 高齢化が進んでいるが、若い方も徐々ではあるが増えつつある。

質問 増えた方の活動実績の追跡調査は。

答弁 藤田産業環境課長 一定されているが、先輩猟師に指導していただくことが課題になっている。

組織の自浄能力が 今、問われている

質問 次々と、日本の大手企業での不正が明らかになっている。

まさに組織における自浄能力の欠如だと思う。村の行政組織は大丈夫か。

答弁 戸梶村長 わが身を振り返って、きちんと常日頃から肝に銘じて仕事をしなければならぬ。

300有余年の 内水問題解消へ!!



戸梶 章議員

質問 下川流域の浸水状況を把握するには、本郷地点、放水路分派点、神母樋門内・外水位、仁淀川八田堰下流の水位記録を残すべきだと考えるが。

答弁 大川内建設課長

日下川流域内の浸水状況を把握するうえで、これらの水位情報は特に重要であると考えられる。これらの水位情報については国土交通省にデータとして蓄積されており、今後に生かされるものと考えている。

質問 村内で3本目となる新放水路の排水能力を明確にするべきと考ええるが。

答弁 大川内建設課長

平成26年12号台風による村内浸水箇所については、表示板で浸水の高さを標記しており、新放水路完成後の浸水想定高さについても、住民の皆様を示せるよう整理しておくべきだと考えている。

質問 仁淀川への排水効果を高めるには、八田堰下流の最高水位の低減が重要と考えるが。

答弁 大川内建設課長

国土交通省は、仁淀川八田堰下流の最高水位低減に向け、既に流下能力を向上するための用地買収や堆積土砂等の除去計

画にも取り組んでいたが、順次計画が進むものと考えている。

輝き続けられる 村創りへ!!

質問 日高村の最重要施策である「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」の成果を確認したい。

答弁 藤田産業環境課長

日高村に安定した雇用を創出するための成果目標である「平成31年度新規事業による年4人の雇用」については、平成29年度中にも新規事業による4人の雇用数が見込まれている。

答弁 川村住民課長

日高村への新しい人の流れをつくる成果目標である「平成31年度の純移動数0人」については、平成27年度実績57人、平成28年度実績18人、平成29年12月時点でプラス3人となっている。なぜ日高村に移住されたのかをお聞きすると、日高村は、「子育て政策や福祉政策」が非常に進んでいる。ま

た、須崎市からの転入者からは「津波への心配がない」など、村として喜ばしいご意見等が多くあった。

答弁 松岡健康福祉課長

結婚、出産、子育ての希望を叶えるための「平成31年度の出生数40人」の目標は、平成27年度30人、平成28年度20人、平成29年度17人程度、平成30年度も現時点の母子手帳交付状況から20人程度と、目標達成は非常に厳しい状況だと考えている。

質問 地元有志による大滝山周辺への整備状況等を確認したい。

答弁 藤田産業環境課長

今年9月地元有志による「大滝山を守る会」が設立され、歩道や山頂広場の整備等が進んだことで、高知市内の中高年女性グループなど、紅葉や季節の花を目的に、2時間程度のハイキングコースとして楽しまれている方々が多いものと認識している。



いの町八田堰

日高村議会村民アンケート 集計結果のお知らせ

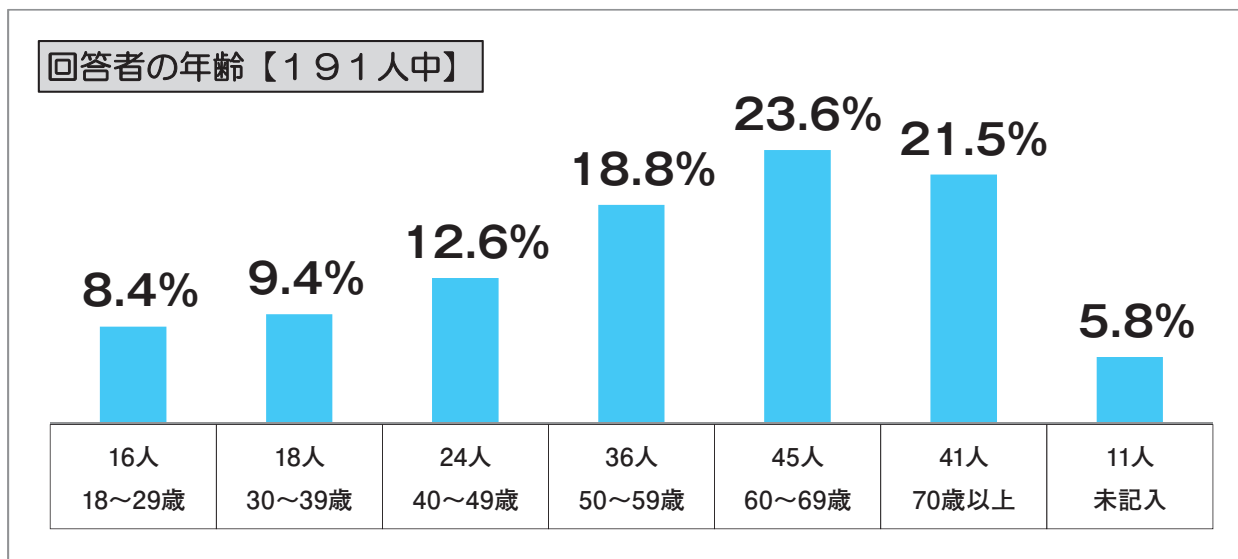
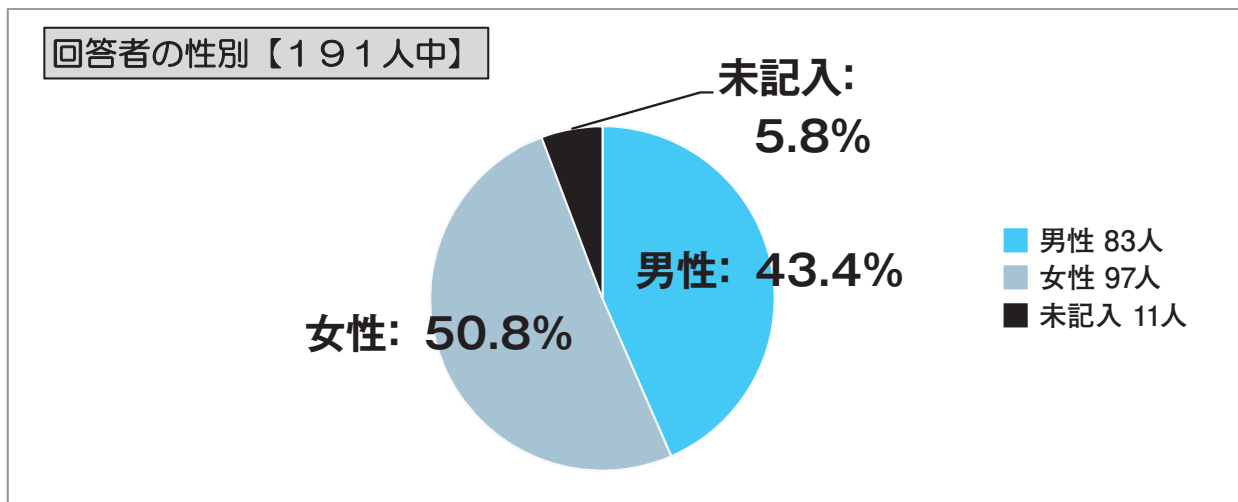
近年の選挙における投票率の低下、全国的に見られる町村議会のなり手不足の問題、また土佐郡大川村で検討された「町村総会」の設置など、町村議会を取り巻く環境は年々厳しい状況となっています。

日高村議会では、村の将来を展望し、村民が議会や議会制度をどのように捉え、どのような村づくりを望んでいるか、議会の活性化、今後の議会のあるべき姿について、皆さんの声をお聞きすべく、今回アンケート調査を実施いたしました。

●調査の概要について

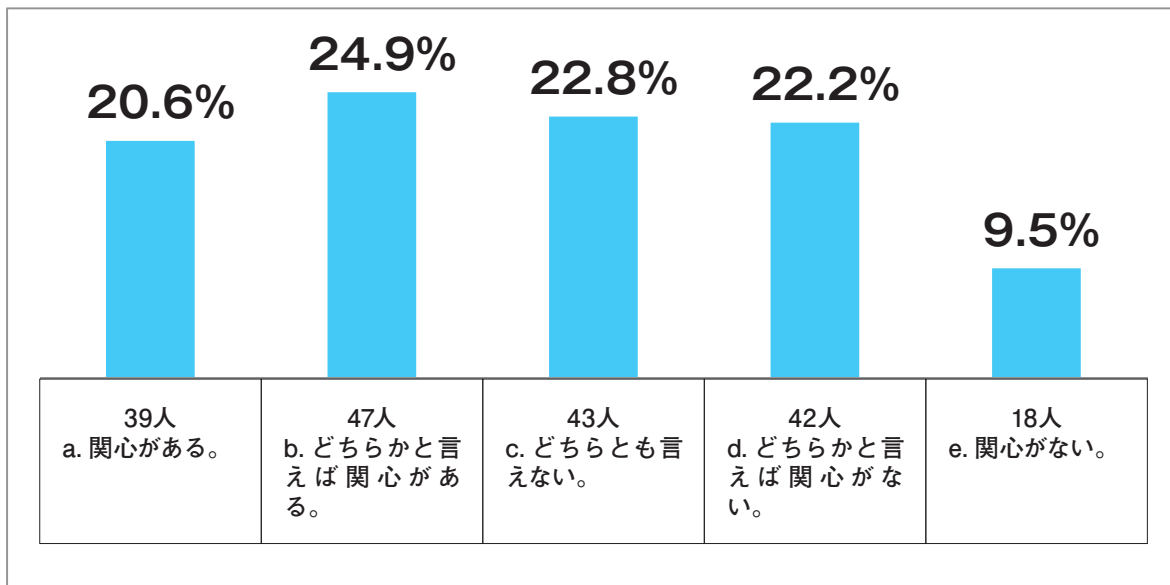
実施期間	平成29年10月10日～10月31日まで
調査対象者	日高村に居住し、かつ選挙権を持っている方の中から無作為抽出した18歳以上の男女500人
回収数	191人
回収率	38.7%

●回答者の内訳



1:議会への関心度について

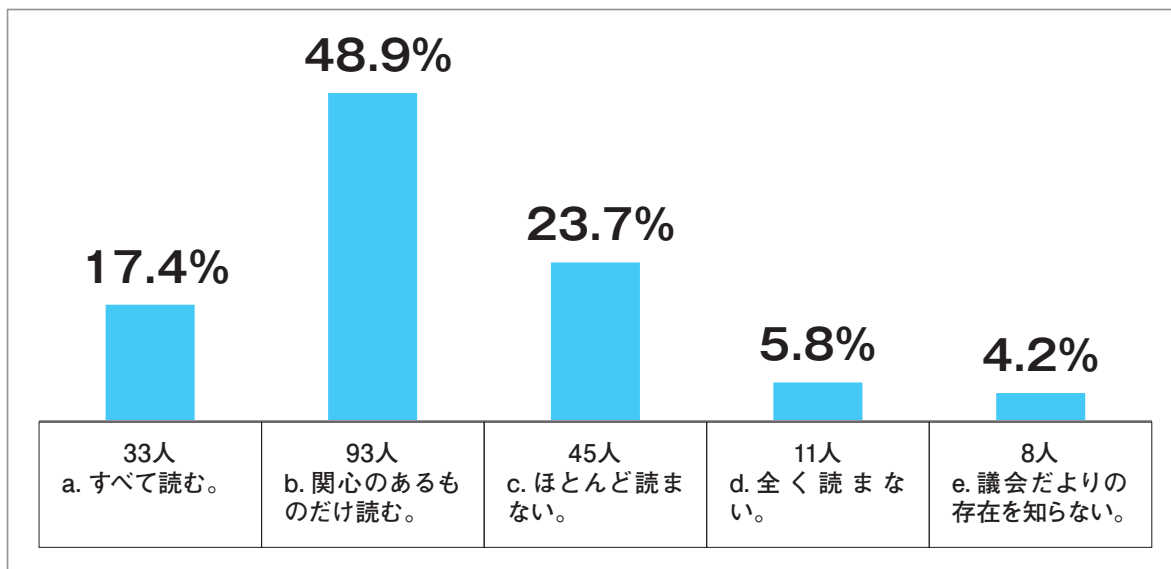
問1:あなたは、議会に関心がありますか。(1つに○)



「a.関心がある」「b.どちらかと言えは関心がある」の合計が45.5%、それ以外の3つの回答の合計が54.5%と、おおよそ関心度は半々となっています。

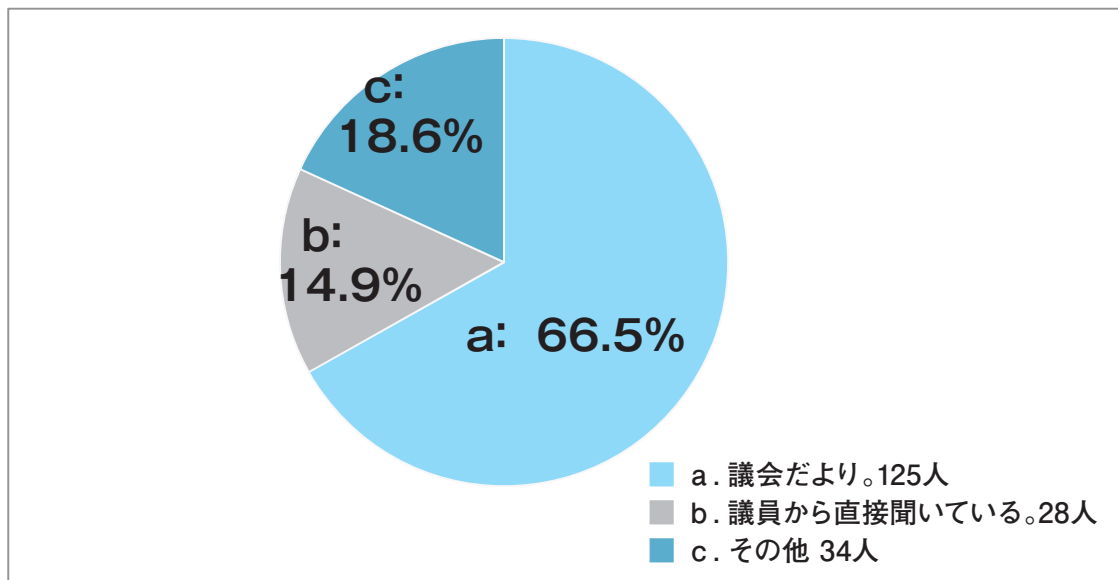
2:議会の広報について

問1:あなたは、議会だよりをご覧になったことはありますか。(1つに○)



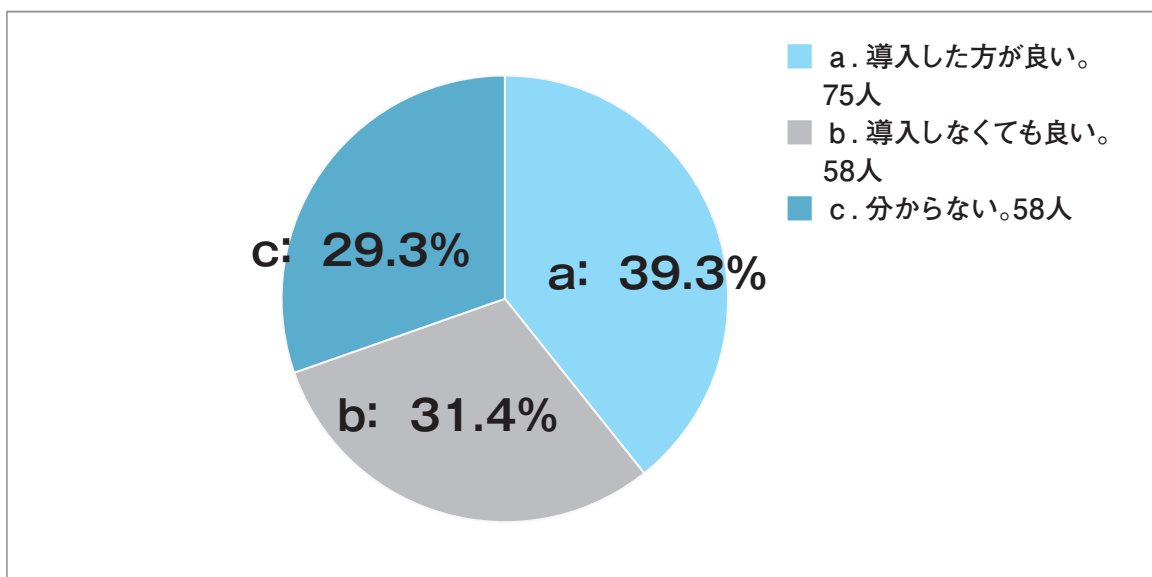
回答者のおおよそ7割弱の方は議会だよりを読んでいらっしゃいますが、「b.関心のあるものだけを読む」方が圧倒的に多く、またcとdを合わせた3割の方は読まれていないことが分かります。

問2:あなたは、議会や議員の活動状況などの情報をどこから得ていますか。
(複数回答)



議会に関する情報は主に議会だよりから得ていることが分かります。前問1の議会だよりを読まれている方(回答aとb)の比率とも、ほぼ同じです。議員から直接聞くことは少ない結果です。

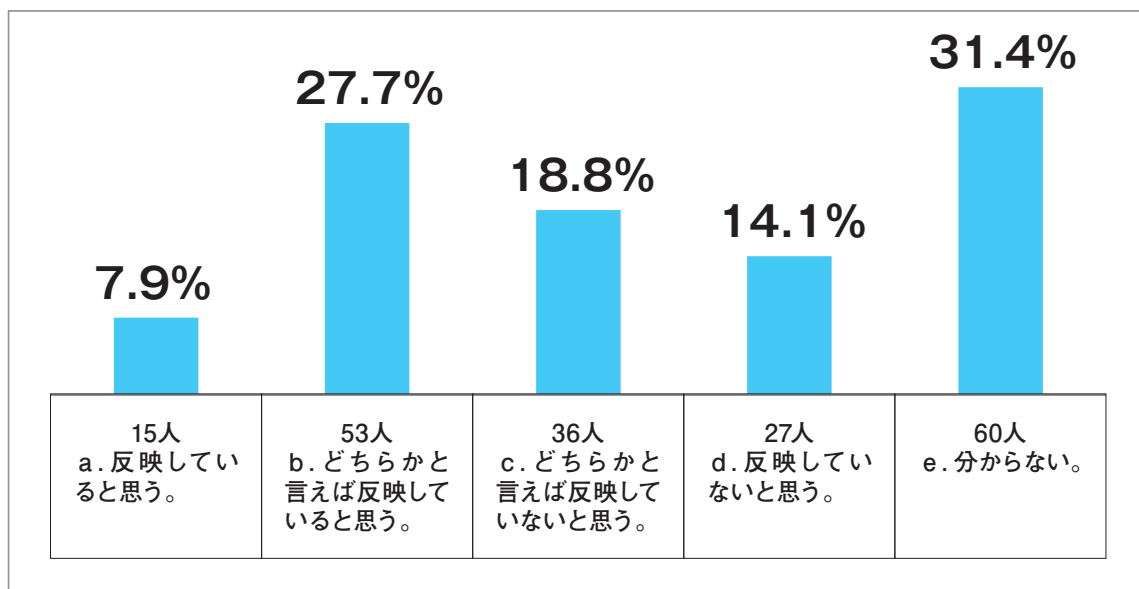
問3:現在、村議会では各家庭のIP端末への議会中継導入を検討していますが、導入した方が良いと思いますか。
(1つに○)



議会中継導入については、ほぼ意見が分かれています。

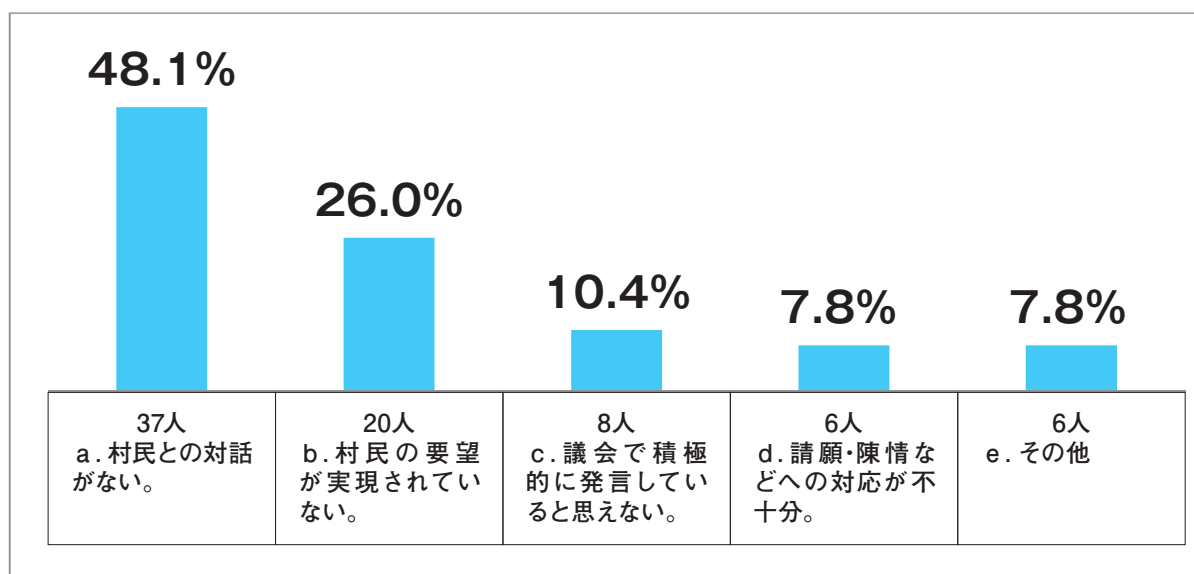
3:議会の運営について

問1:あなたは、議員が村民の代表として、村政に村民の声を反映していると思いますか。(1つに○)



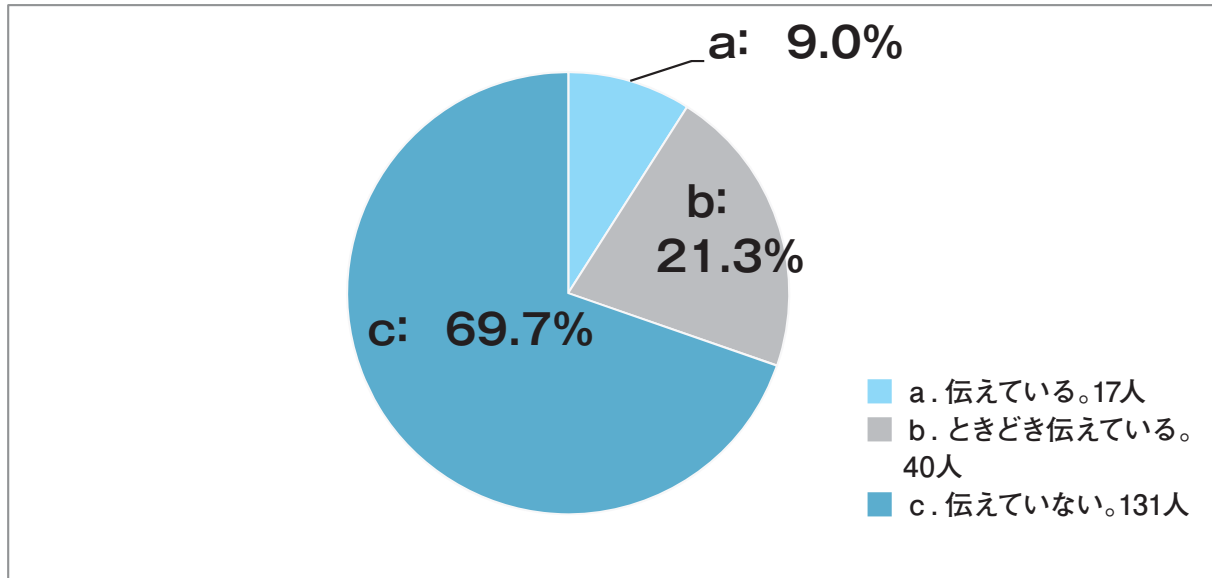
a,bの合計35.6%、c,dの合計32.9%、e.31.4%とほぼ同じ比率となっています。村民の皆さんの声が反映されているという実感の仕方はそれぞれであることがうかがえます。

問2:前記の問いで「c.どちらかと言えば反映していないと思う」、「d.反映していないと思う」を選択した方にお聞きします。選択をした理由をお聞かせください。(複数回答)



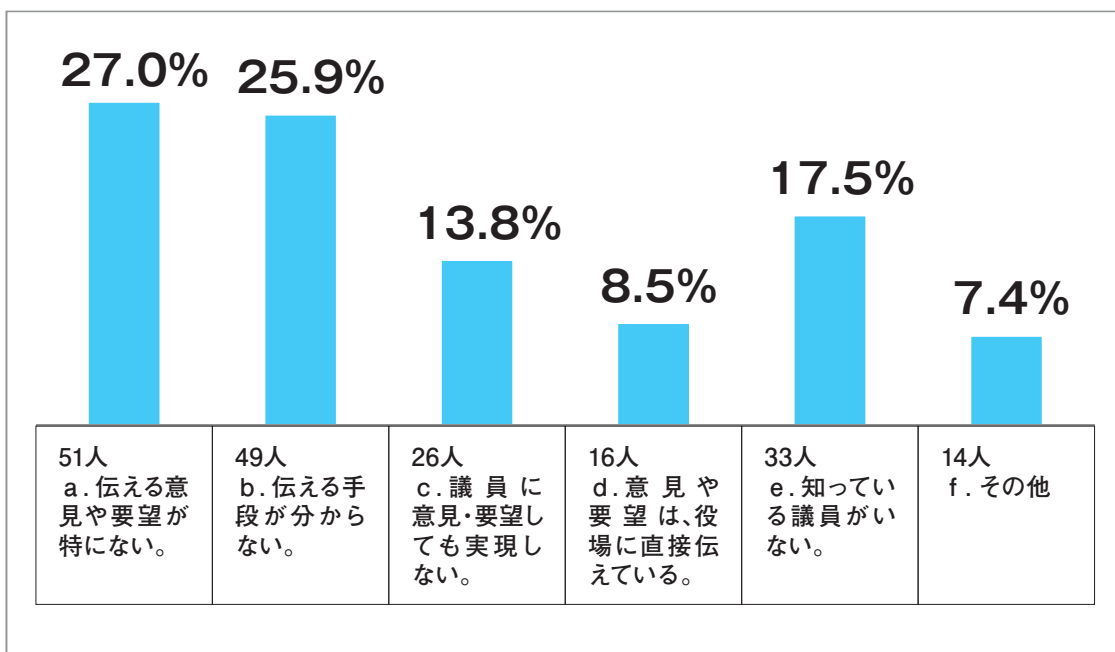
反映していないと思っている方々の中では、圧倒的に村民との対話がないと感じている方が多いことが分かります。

問3.あなたは、議員に自分の意見や要望を伝えていますか。(1つに○)



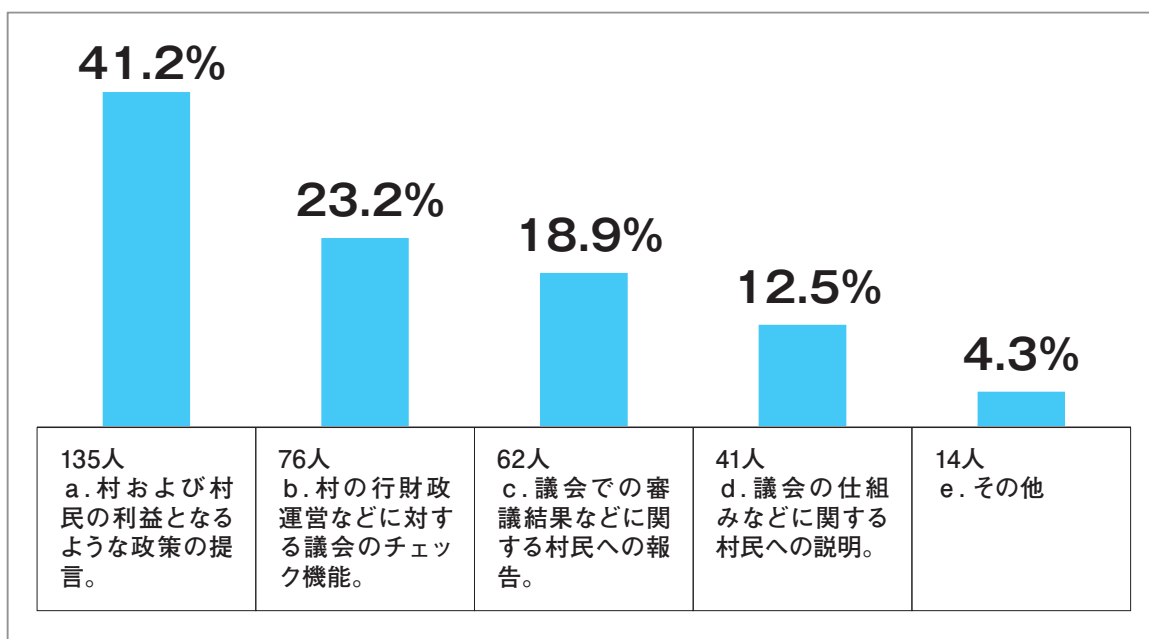
直接(間接的でも)意見・要望を伝えている方はとても少なく、7割の方が伝えていないという結果になっています。

問4.上記の問いに「c.伝えていない」を選択した方にお聞きします。その理由をお聞かせください。(複数回答)



伝えていない理由はさまざまありますが、伝える意見・要望があっても、b,eのように「手段としてない」方が43.4%いらっしゃいます。cにもみられるような、「実現の見込みがない」と感じている方もいらっしゃいます。

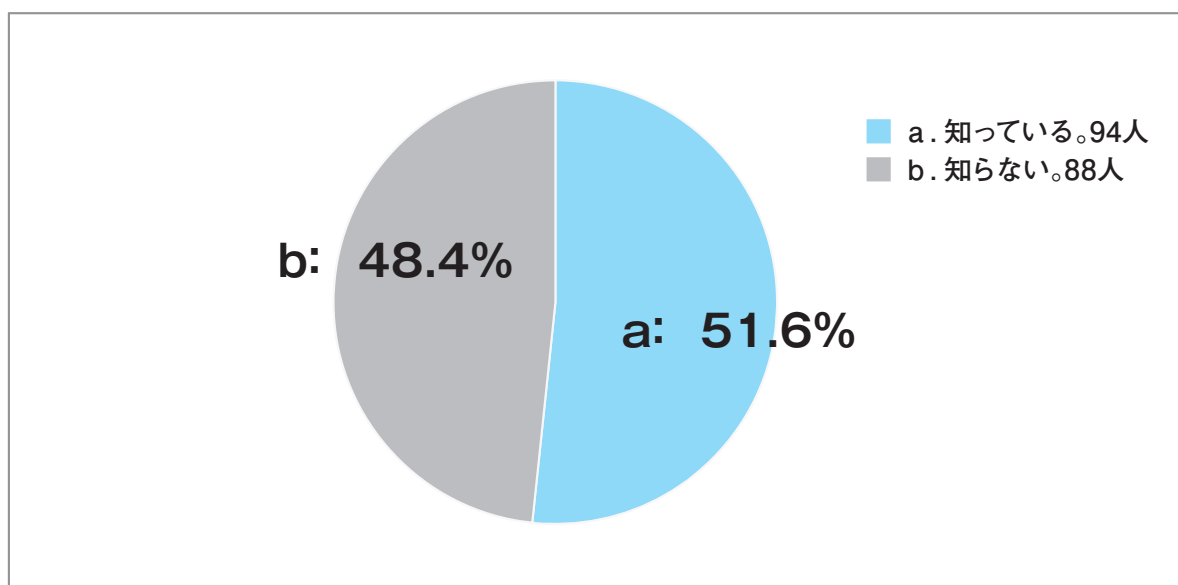
問5.あなたは議会や議員のあり方として、どのようなことを期待しますか。
(複数回答)



「a.村および村民の利益となるような政策の提言」の回答が多く、最も期待されていることであることがうかがえます。

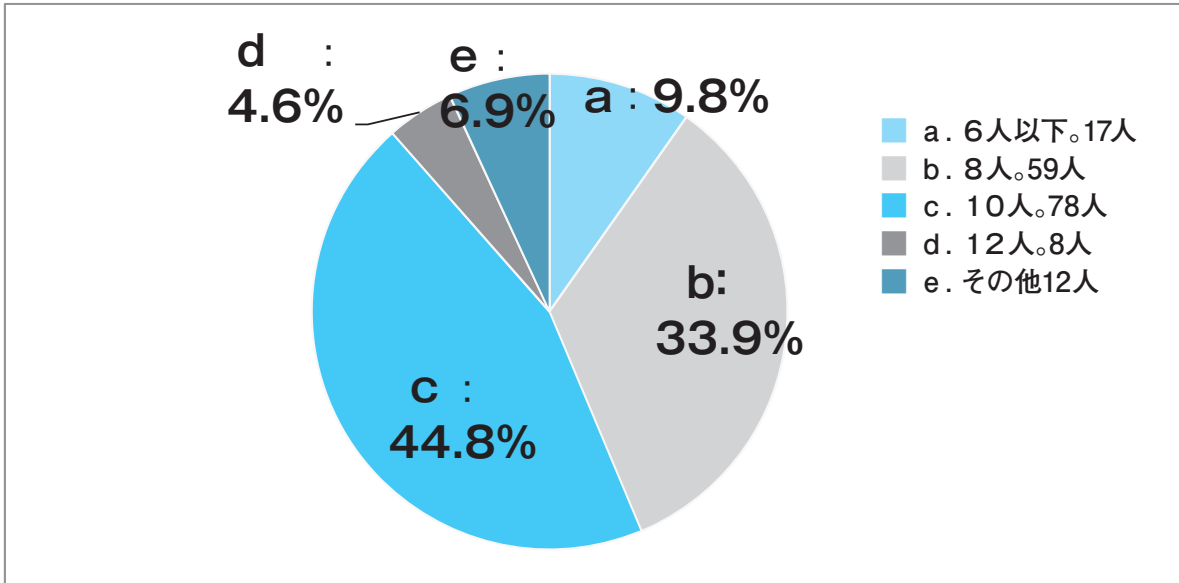
4. 議員の定数について

問1.あなたは、村議会議員の定数が10人であることをご存じですか。
(1つに○)



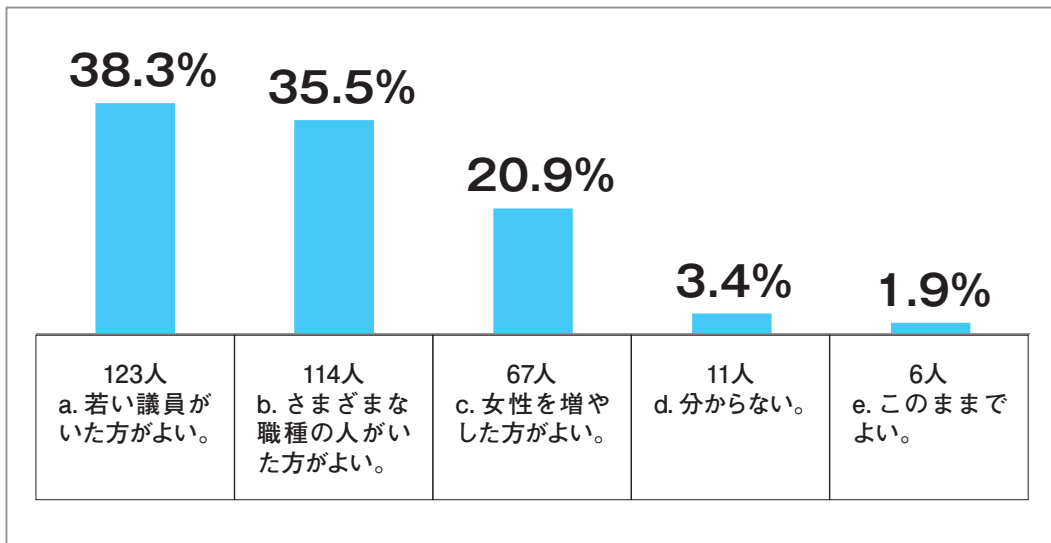
ほぼ半々の結果となっています。

問2.議会による健全な審議や村行政のチェック機能を今後継続してゆくために、あなたは、議員定数は何人が良いと思いますか。
(1つに○)



現在の定数である「c.10人」が一番多いですが、妥当な数として「8～10人」と考える人が多いということが分かります。

問3.現在の日高村議会議員は、全員60歳以上で、女性議員は1人となっています。あなたは、議員構成のあるべき姿として、どのようにお考えですか。
(複数回答)



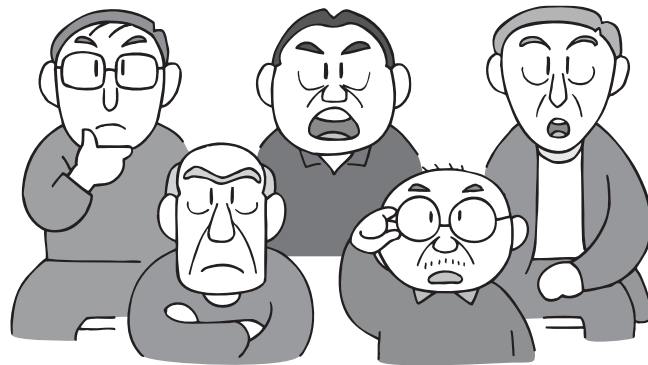
回答者の方が求める姿として、「若々しさ」「多様性」を期待していることがうかがえる結果となっています。

問4.議会のありべき姿を実現するためには、どうしたらよいと思いますか。あなたのお考えをお聞かせください。【抜粋】

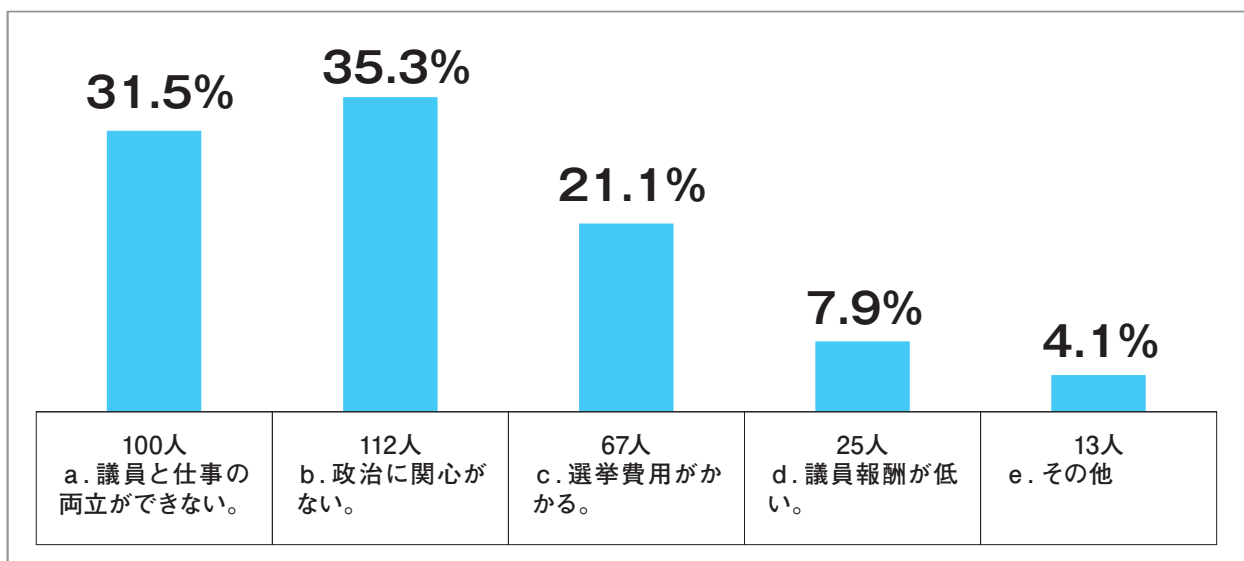
※たくさんの方のご意見をいただきましたが、紙面の都合上抜粋して掲載しております。

- ◆まず、議会が分からない。何をしているのか分からない。あるべき姿とは？本当に村のことを考えてしているのか？そのあるべき姿を実現するために、議員さんに考えてほしい。村民の意見、現状を踏まえて、自分のことばかりでなく！役場の職員も同様、もっと村民に親切に愛想よく対応できないものか？大人なので！村民にもマナーは必要だが！
- ◆60歳以上の議員の人数に上限を設けるなどして若い世代が参政しやすい場を整える。村民の議会運営や村政に対する関心をアンケート調査等で明らかにし、幅広く意見をくみ取れるシステムを構築すべき。
- ◆仕事をした結果が一目で見て分かる資料を作って、公表してほしい。
- ◆村外へ仕事に出ていると、村の中のことに目が向かない。生活圏が村外にあるように思う。議会の活動がどう私たちの生活に結びつくのかピンと来ないのが正直な感想です。将来のことを考えるなら、小中学生の頃から、議会というものの仕組みや働きを知れたらよいのではと思います。
- ◆自分が暮らしている地域と議会との関わりがどんなものなのか、子どもの頃から教育を通して教えていくといいのではないかと思います。外国では若者の間で政治の話が普通に会話されているらしい。日本の若者が自分に関係ないと思っているのは知識がないだけで、実は深いかわりがあると小さいころからもっと教育していくことが大切だと思う。現に私は全く知らないまま育って来ました。例えば校舎の改修を議論しているときに見学させるなど、暮らしが生活に直結していることを実感させることが大切なことと思う。
- ◆国政などと違い、村政はより地域に密着したものです。自然と村民から上がってくる問題に対処するだけでも合格でしょう。しかしながら、誰でもいい訳ではありません。一番政治家に必要なのは意志ですから。地元愛を喚起して問題を問い、自ら立たれるのを待つしかないのでは？
- ◆議員は自分の仕事+議員の仕事をされている方が多いのではないかと思います。議員の仕事だけで話できるしくみ作りが大切なのではないかと思います。村民からだけではなく、議員の方から(村民に)話を聞きに行くぐらいのことができるようになったらいいのではないかと思います。
- ◆ボランティア活動に参加し、住民との会話機会をとること。
- ◆信頼できる議員を求める。議会における議論が深まっているように思えない。村発展のため、本質的な議論を村民に周知してほしい。
- ◆報酬が少ないから議員のなり手が少ないのではとばかりは言えないと思います。毎日議会があるのではないし、日曜日とか夜、議会をすれば、普段は自分の仕事ができるはず。若い人がいたほうがいいのはもちろんですが、無理なら定年になったばかりでやる気のある人はいくらでもおります。その方々にお願いするのもいいのでは。

- ◆少子高齢化に伴い、携わってみれば、日高村は福祉に力を入れている感じがします。地域の議員に意見・要望しても聞いてもらえない。だから他の地域の議員に頼んだと聞いたことがあります。日高村全村民の意見・要望はもちろん、隅々まで差別なく足を運んでもらいたい。
- ◆1. 役場の方も、村議会の方も1年に2回ぐらい、いろいろな話をしてくださると、良いと思います。2. (各部落に)とにかく来ていただきたい。その一言。
- ◆広く村民の悩みや意見を吸い上げること。その方法を考え、広報などで知らせる。議員様方は村民の信頼と期待を寄せられています。品性を高め、意欲を持って村民生活の向上にご尽力ください。特定の個人・団体の便宜を図ることはあってはならないと思います。国政でも問題になっているとおりです。



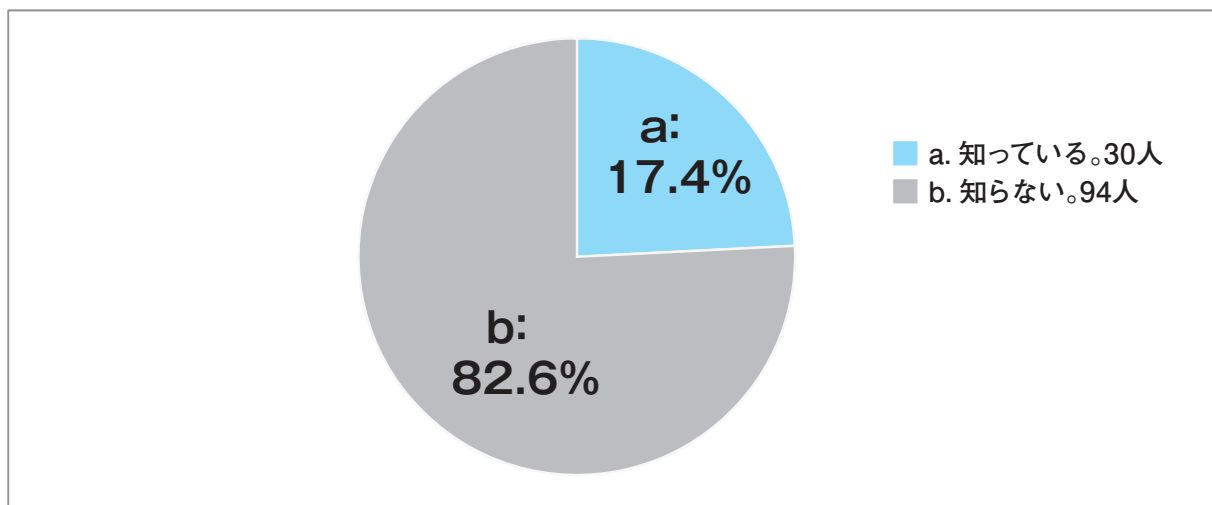
問5. 前回の統一地方選挙では、全国89町村(全体の21.8%)が無投票当選となり、議員のなり手不足が目立ってきております。何が原因だと思いますか。(複数回答)



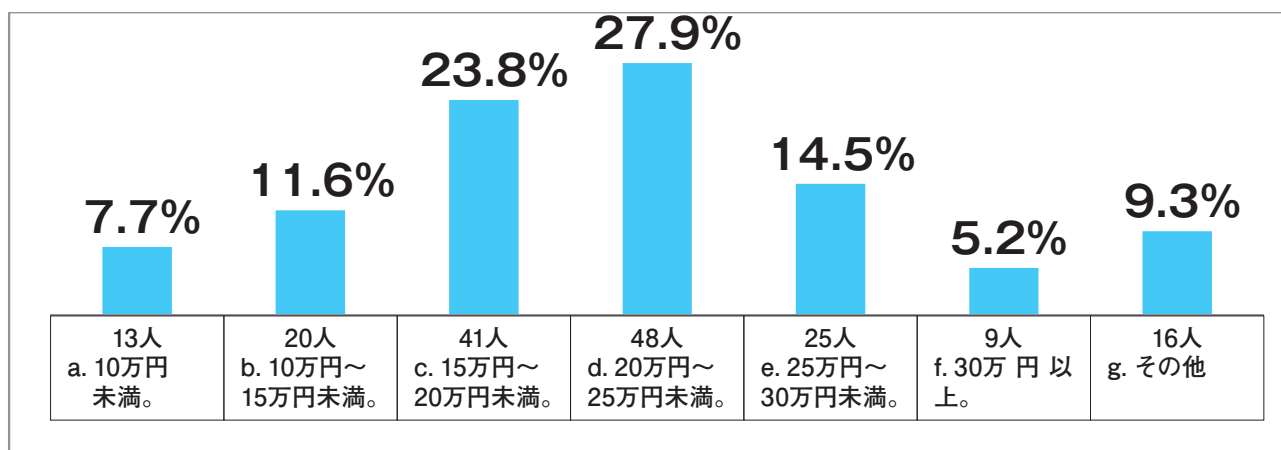
「a. 議員と仕事の両立ができない」「b. 政治に関心がない」が多く挙げられています。

5. 議員の報酬について

問1. 日高村議会議員の報酬額をご存じですか。(1つに○)



問2. もし、あなたが議員になるとしたら、議員報酬はどれくらい必要ですか。(1つに○)



「d. 20万円～25万円未満」が多い結果となっています。「生活に必要な金額の確保」という側面と、「議員の仕事の捉え方」が結果に影響していると考えられます。

今回のアンケート調査では、さまざまな年代の方より回答・ご意見をいただきました。調査結果を公表するとともに、今後の日高村議会の運営に大いに活用させていただきたいと思っております。

アンケートにご協力くださいました方々にはこの場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございました。



